


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立青山高等学校</b>		全日制課程	進路実績 特徴	四年制大学	63%	短期大学	0%	専門学校	1%	就職	0%	その他	36%	
		<b>高きを望め 青山で</b>				基	旧帝大を含む難関国公立大学現役合格28名、東京大学現役合格5名									
所在地	〒150-0001 渋谷区神宮前二丁目1番8号			電話番号	03-3404-7801	主な部活動	青山フィル、ラグビー、サッカー、男子・女子バレー、硬式野球、水泳、柔道、陸上、剣道、男子・女子バスケット、硬式テニス、バドミントン(加入率97%)									
	アクセス	(1) 東京メロ・銀座線「外苑前」下車 徒歩3分 (2) JR中央・総武線「千駄ヶ谷」又は「信濃町」下車 徒歩15分 (3) 都営地下鉄・大江戸線「国立競技場」下車 徒歩15分			学校評価		保護者向け進路研修会の有用度:91% 生徒の授業満足度:94%									
本学		科	普通科			入学者選抜情報	募集人員	推薦:男子16人・女子15人、 学力:男子149人・女子137人								
	在籍生徒数	884人(男子459人、女子425人)			28年度入学生			推薦	男子	7.21	29年度入学生	推薦	男子	3.86	30年度入学生	推薦
教育課程の特徴	50分6限授業、3学期制、習熟度別授業(数学1・2年、古典2・3年、英語2・3年)、土曜授業(年間20回、70分3限授業)、土曜講習(年間4回)			学力検査		学力検査	女子		9.62	学力検査			学力検査	女子		
ホームページ	<a href="http://www.aoyama-h.metro.tokyo.jp/">http://www.aoyama-h.metro.tokyo.jp/</a>		自律経営推進予算		2,355		その他の特徴	推薦:個人面接、集団討論、小論文(社会分野、理科分野) 学力:大学入試改革を見据えた特色ある自校作成問題(国・数・英)								
その他	進学指導重点校 英語教育推進校		校服	標準服	男子:学生服 女子:ブレザー、スカート	主な学校行事 外苑祭(文化祭:9月)、体育祭(6月)、修学旅行(関西方面:3月)										

目指す学校 ○難関国公立大学を目指す進学校  
○知・徳・体の均衡ある全人教育校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>系統的な進路指導の一層の充実を図り、国公立大学進学の実績の向上を図る。</b> ・進路全体計画の策定と着実な実施 ・3学年進路職員会議、ケース会議の実施 ・模擬試験ごとの志望者リストの作成と希望に応じた講習の実施 ・模擬試験は、学年集会で各教科担当の解説を加えて返却 ・校内作成学力テスト、外部模擬試験の実施 ・講習及び補習の実施	国公立を志望する生徒を平成29年度に続き高い水準で持続できた。センター試験8割以上の得点者が280名中84名と昨年度を上回り、着実な指導成果を挙げることができた。これは、進路全体計画の策定とその着実な実施によるものであり、特に進路職員会議及びケース会議を確実に実施したことが奏功したものと考える。その他の目標についても、確実に実施することができたが、その要因は、進路指導部の主幹教諭が、校長の経営方針をよく理解し、3学年担任団や各教科にねばり強く働きかけたこと、学年担任団が統一したホームルーム指導を均質に行う、こうした取組によって、旧帝大を含めた難関国公立大学現役合格者数は、34名、国公立全体の現役合格者数は94名となり、進学指導重点校としての責務を果たすことができ、今後の一層の向上に向けた足がかりとすることができた。	
目標②	<b>教員の専門性の向上と国公立大学進学に対応した学習指導を展開する。</b> ・シラバスの改善と単元ごとの到達目標を設定、教科会等で進捗状況を確認・調整 ・IT化した授業評価の結果を分析し、成果のある指導方法等を教科・学年で共有 ・教員の授業見学を年2回(6月、11月)実施 ・校内学力テスト、外部模試の結果分析及び分析に基づく指導の充実・改善	年間指導計画(シラバス)の改革に着手し、各教科・科目とも単元ごとの学習到達目標を示す形式に変更する方針を打ち出した。平成31年度のシラバスは平成30年12月までに管理職のチェックを行った。また、教科会での議論が経営方針を踏まえた建設的なものになるよう、各回の議論のテーマを詳細に提示することにした。その結果、学習到達目標の設定や成果の挙がっている実践事例の共有など、管理職の意図する方向性での議論を促すことができた。また、自校作成問題に大学入試新テストを見据えた新形式の設問を盛り込むことができた。これにより、校内学力テストや定期考査等の問題も、その趣旨に則ったものに改善されている。さらに、授業評価をWeb化することにより、迅速かつ的確に教員の指導へのフィードバックを行うことができるようになった。	
目標③	<b>施設・設備の充実・改善を図って教育効果の一層の向上を図る。</b> ・施設・設備の安全に係るPTの設置 ・改修等の複数年度にわたる中期的計画を策定し、増改修要望に反映 ・グラウンドの人工芝生化と外構整備 ・5階普通教室、ホール、音楽教室、CALL教室等の個別冷房装置の設置 ・自習室や廊下ラウンジの学習環境の整備	特別予算により、5階普通教室と視聴覚室等の個別冷房装置が1月より始動している。また、体育館のアリーナ照明のLED化も平成31年2月に完成した。今後は、被服室の小会議室設置、男子更衣室・トレーニングルームの改修を平成31年度に実施する。学校評価等のWeb化により、保護者・生徒の要望を迅速に把握し、的確に分析することができた。これにより、優先順位を付けて施設・設備の改善に取り組む道しるべを示すなど、学校運営の透明性を格段に高めることができた。しかしながら、緊急性の高いグラウンドの改修や教室棟の廊下の空調など、まだ手付かずの箇所も依然として多いことから、教育庁所管部署や学校経営支援センターと連携して、引き続き計画的に改善を図っていく。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	5(6)教科7科目型受験者 在籍者の6割以上	190	185	190	182	200	231	190	201	190	200	190
目標②	難関国公立大学(東大・京大・一橋大・東工大・医学部医学科・旧帝大)現役合格者 31名以上	21	26	29	22	26	28	31	37	34	37	40
目標③	学力検査応募者 男女合わせて500人以上	500	531	500	508	510	555	500	535	500	510	500